

GAFAM

クロダイインターナショナルコンサルティング

黒田 毅

GAFAM は自己哲学を製品化する。これは先端性の追従でなく、先端性の創造なのである。

これらは企業経営が、理解という基盤において製品の提供と経営を要求されることを意味する。

これらは企業哲学が独自性と先端性を創造するという現実であり、これらは新しい現実において常識であることは、アメリカという風土と自由経済システムにおける新しい現実が存在するのである。

これは既存性への固執が現実において不可能であることは、もはや日本企業においても常識なのである。

これらは自己ビジョンと理念、思想と理解が、優れた企業の現実を構築することを与えるのである。

独自性と創造性は、必ず自己哲学という基盤において可能なのである。

独創性は同じでないことであり、先端性への追従は哲学の欠如なのである。これは底辺からの企業哲学の構築が、独創性を可能とするのである。

これらオリジナリティは、底辺からの哲学と思想の積み重ねが、完成されたサービスと製品を可能とできるのである。

これは自己を見つめ、説明し、目標を有し、それを行うという、PDCA サイクルの構築において、提案できる。

これらは会議における内容が、詳細を説明し、独自アイデアの起案を求め、完成されたサービスと製品を提案できるのである。これらは新しい企業基準が、既存性から創造性へ転換し、新しい企業風土の育成とともに、再度時代への参加を要求されることを意味する。競争という現実生き残り競争であり、変化への対応は、必達の課題なのである。

